

駅間において車両ドアが開扉した事象について

多摩都市モノレール株式会社（本社：東京都立川市、社長：河島均）では、車両が駅間に緊急停止し、車両ドアが開扉するという事象が発生しました。ご利用中のお客様に大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。今回の事象を厳粛に受け止め、今後再発防止に努めてまいります。

詳細につきましては、下記のとおりです。

記

1 発生日時

平成27年9月3日（木）5時35分頃

2 発生場所

多摩都市モノレール線 立川南駅（東京都立川市柴崎町3丁目7番地先）
～柴崎体育館駅（東京都立川市柴崎町6-107番地先）間

3 当該列車

立川北駅5時30分発 多摩センター駅行き（ワンマン 4両編成）

4 乗車人員

44名

5 概況

- ・当該列車は、立川南駅を発車後約314m地点において、保安装置が作動したことで緊急停止しました。
- ・その際、運転士（67歳男性）が左側ドアの開扉ボタンを押したため、左側ドアが約7秒間開扉しました。
- ・この事象による負傷者は発生しておりません。また、当該列車に最大2分の遅れが発生いたしました。後続列車に遅れは生じていません。
- ・当該列車は多摩センター駅で折り返し、同運転士は甲州街道駅まで運転した後、他の運転士と交代しました。

6 原因

- ・駅間に停止した際に、誤ってドア開閉操作を行ったため。
- ・通常駅間ではドア開扉はできない仕組みになっているが、今回の場合、立川南駅で停止位置不良があり、その際、車両ドアとホームドアが連動する装置を解除し、それを復旧せず運行を再開したことにより、駅間でドアが開扉可能な状況になっていた。

なお、立川南駅ではホームドアが開扉したままとなったが、駅係員が直ちに閉扉した。

※当該運転士は交代後、体調不良により救急搬送されているため、今後体調の回復を待つて更に事情を確認する予定